

コミュニナールとは？

「つなぐ／共有」と「アート」という二つの言葉を合わせてフランス語風の読みにした造語です。医療・介護・福祉と社会のさまざまな組織や人がアートによってつながることをイメージしています。

コミュニナールがめざすもの

アートや文化活動には人の心を別世界へと誘う力があります。病院や施設等、必ずしも心地よいとはいえない場にこれを活かすことで、現実の厳しさからの解放とその人らしさの回復のきっかけ作りができればと考えています。

コミュニナール設立のあゆみ

コミュニナールは2022年4月に誕生しました

2018

徳島大学病院（徳島市）でギャラリーの整備や展示企画、コンサートの実施

同院でマスキングテープを用いた階段アートを制作

徳島県内の病院、高齢者施設、障がい児施設等でマスキングテープを用いたアート制作やワークショップ等を実施

2021

大学、企業 CSR、アーティストと連携したマスキングテープアート制作を徳島赤十字病院にて実施

大学の枠を超えた全国規模の任意団体としてコミュニナールを結成

愛染橋病院（大阪市）で地元企業と連携したホスピタルアート制作を開始

2022

特定非営利活動法人コミュニナール設立

熊本大学病院（熊本市）に「ひびきあうハート」の制作を準備中

●ごあいさつ



コミュニナールの活動は私が病院長を務めていた徳島大学病院でのアート活動に端を発しています。私は脳神経外科医として脳に障害や病気を持つ方々の治療を行っていますが、アートがときに治療を超える大きな力を発揮することを実感し、病院アートを推進して参りました。しかし医療・介護・福祉の領域へのアートの導入は容易ではなく、まだ社会に十分に浸透していません。この現実を少しでも改善できるよう努めて参りますので、応援を宜しくお願い致します。

理事長 永廣信治

●主な活動内容

■ホスピタルアートの導入

病院や高齢者施設などで、主にマスキングテープを用いた壁画アートの制作を行っています。メンバーやアーティストだけでなく、職員の皆さんや患者さん、地域の方、企業の方、学生や子どもたちなど、多くの人に関わることができるような方法を実践しています。ホスピタルアートは地域や病院外の人たちから院内の人たちに思いを届ける手段でもあると考えています。



■アートワークショップの開催

主にマスキングテープを用いたアート制作を体験していただくワークショップを開催し、普及に努めています。マスキングテープアートは空間の装飾に適しているばかりでなく、リハビリの効果やチームビルディングへの活用等も期待されるので、さまざまな業種の方から関心を持っていただいています。



■講演・研修の開催

ホスピタルアートに関してこれまで蓄積してきた経験や研究を基に、社会啓発や情報交換のために講演を行っています。ワークショップと併せた研修プログラムとなることもあります。本法人は医療とアートの専門家をそれぞれ擁しているため、多面的なご提案が可能です。

わたしたちと一緒にアートで社会をサポートしませんか？ - 3つのコースのご提案 -

♥賛助会員コース



本法人の様々な活動にご参加いただけます。法人主催のセミナー等により知見を深めていただく機会もあります。

♥寄附コース



本法人の活動の後方支援により社会貢献していただけます。（現在、税額控除法人とはなっていません。）

♥企業・団体の社会貢献コース

SDGsにもつながる本法人の活動は、楽しみながらできる社会貢献として好評です。ご希望に沿う方法を提案させていただきますので、ぜひ事務局までご相談ください。